秦建日子 Interview

地方創生は、さまざまなカタチで継続して地元の魅力を発信することが大切

心が癒されるのを感じる それが岐阜の素晴らしさ

岐阜は本当に素晴らしいところ。ぼくは岐阜を訪れるたびに、東京のような大都会やインターネットで消耗した自分の心が癒されていくのを実感しました。人間が本来もつべき優しさ、朗らかさ、温かさ、豊かさが、まだしっかりと息づいている。そんな風に思っています。なので、この地を舞台にした映画を作り広く発信することで、ぼくと同じように消耗したり疲弊したりしている多くの人の心に、少しでも潤いを届けられたらと考えながら『ブルーヘブンを君に』を撮りました。

ぼくは桑名で、映画監督としてのデビューをしました。木曽三川が並行して流れる、他にはない雄大な景色にまず惹かれました。三本の川、そして美しい山々と田園風景。川を遡ると、そこにはこんな美しい国があったのかと感動しました。そして、その清冽な川の水に育まれた野菜や果物、鮎、飛騨牛、地酒のなんと旨いことか。楽園というのはまさに岐阜のことだと思いました。

映画は地域の暮らしの「空気感」を伝えるのにいい方法で、国内のみならず世界にも発信できます。ずっと残るので、今の地域の記録を映像で次世代に残すという意味でも適していますね。

明日への活力が湧くハッピーな映画です。人は幸せになるために生きるべきだと思います。では、その幸せとは何か。人に、幸せを運んできてくれるものは何か。そして、それは、どこにあるのか。そんなことを考えるきっかけに、この『ブルーヘブンを君に』がなってくれたら、うれしいです。「人生は、毎日が新しい。」というコピー通りに爽やかで温かな気持ちになっていただけるはずです。

大垣市「四季の広場」にダンサーが大集合！とても良い天候に恵まれて、青空をバックに"オール地元"のダンス撮影がスタートしました。

PROFILE

秦建日子／はた たけひこ

小説家・脚本家・演出家。篠原涼子主演『アンフェア』シリーズ原作。連続ドラマ『HERO』『ドラゴン桜』『そして誰もいなくなった』など大ヒット脚本作品多数。2021年6月11日公開予定の映画『ブルーヘブンを君に』では監督・脚本を担当。また、『NAGOYA FURIMO』では小説『女子大小路の名探偵』を連載。

ロケ地紹介

［ 大垣市 ］
大垣市立図書館
住所:大垣市室本町5-51

鹿野がハングの素晴らしさを語るシーンはここの図書館で撮影されました

［ 大野町 ］
河本バラ園
住所:大野町大野775

青いバラ「ブルーヘブン」を開発し冬子のモデルとなった女性が勤めるバラ園で実際に撮影

［ 池田町 ］
バラ・ハンググライダー発進基地（池田の里公園）
住所:池田町藤代（池田山）

スカイスポーツの聖地や夜景スポットとして人気。映画最大の見どころもここで撮影

［ 揖斐川町 ］
川口橋付近
住所:揖斐川町北方1266付近

冬子の日課であるウォーキングは揖斐川沿いのこの道で。川のせせらぎが素敵です

［ 岐阜市 ］
柳ヶ瀬商店街
住所:岐阜柳ケ瀬通付近

冬子が思い出にふけりながら歩くシーンや初めてお酒を飲んだシーンはこちらで

チケット購入はこちら

予告編はこちら

西濃エリア出身者より Message

株式会社フードストック
代表取締役 梅村佳明

FOODSTOCK

http://theros.website/

Message

岐阜は大好きな私の故郷で、ここで育ったことが誇りです。岐阜の魅力を、多くの人に感じてもらい、映画を見終わった後には、やわらかい春の風に包まれたような優しい気持ちになれるのではないかと期待します。

Profile

1969年に揖斐川町で生まれ、高校卒業まで揖斐川町で育つ。大学から東京で、そのまま東京にて外食ベンチャー企業を経て、株式会社フードストックを起業。事業内容は、飲食店経営、業務用食材の卸売販売、食品の輸出入。

岐阜の魅力がつまった映画が 6月11日（金）より全国ロードショー 作品の見どころを一挙紹介

蒼太が運転するベスパの後ろに乗る冬子。冬子が大きな決断をするシーンは、池田山麓茶畑で撮影された。ほかにも映画の随所に見覚えのある場所が映し出される。見慣れた風景をスクリーン越しに楽しむのはもちろん、撮影現場を訪ねてみるのもいいのでは

岐阜 西濃が舞台に!! 生きる感動と喜びに包まれる、奇跡の物語

巻頭特集

【映画】ブルーヘブンを君に *Blueheaven*

6月11日に全国公開される映画『ブルーヘブンを君に』。
舞台は岐阜県西濃地域。ハンググライダーに挑戦する冬子の姿を通じて、
生きる奇跡を実感する物語です。

岐阜の魅力が映像に 不可能な夢を諦めない

『ブルーヘブンを君に』は、岐阜地域の活性化が目的の地域創生ムービーです。監督・脚本は、『アンフェア』シリーズの原作者であり、小説家としても活躍する秦建日子氏。桑名市で撮影した『クハナ！』、宇都宮市が舞台の『キスできる餃子』に続き3作目となります。

バラには本来、青色色素がありません。そのため、品種改良のみで青いバラを作るのは不可能といわれてきました。しかし2002年、岐阜県大野町のバラ育種家が20年以上の研究の末、青いバラを作出。『ブルーヘブン』と名付けられました。

主人公の冬子は、そんなブルーヘブンの生みの親がモデル。青いバラに挑戦してきた冬子が、重い病で余命半年と診断され、青い空を飛びたいという新たな夢へ挑むストーリーです。「人生は、毎日が新しい」。キャッチコピーの通り、前向きに生きる冬子と、懸命にその夢を支える人たちの姿が描かれています。

そんな物語を由紀さおりをはじめとした豪華キャストが熱演。さらに注目したいのは映画の舞台です。スクリーンに映し出されるのは、大垣市図書館や四季の広場、池田山など、私たちが普段見慣れたスポットばかり。物語に親近感を持てるだけでなく、映像を通して岐阜・西濃の美しさ、魅力に気づかされるでしょう。地元の魅力を再発見できる映画『ブルーヘブンを君に』は、6月11日にいよいよ公開。ぜひ劇場で冬子たちの奇跡を楽しんでください。

《 CAST 》

BOYS AND MEN 小林豊（鷺坂蒼太）

由紀さおり（鷺坂冬子）

BOYS AND MEN 本田剛文（恩田正樹）

柳ゆり菜（鈴木夏芽）

寺脇康文（鈴木一郎）

大和田獏（川越恵一）